

(その四)

工場又は事業場の名称	河村産業株式会社 かずさ工場
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
<input checked="" type="radio"/> C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>フィルム塗工工程による取扱量は平成29年度並み、令和1年度使用量、排出等の量は共に計画比で減少。蓄熱燃焼式脱臭装置によりVOCを99%酸化分解処理、大気へは1%の排出。環境上の改善として平成21年度より塗工樹脂原料転換によるトルエン未使用の生産を行っています。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	日本ドラム株式会社 富津工場
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
<input checked="" type="radio"/> C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>当社は、平成18年10月の操業当初から炭化水素除去装置、触媒燃焼式脱臭炉を設置しており削減計画の基準年である平成19年には既に、揮発性有機化合物の50%以上の削減を実施しています。</p> <p>自主的取組実績の評価はCとなっているのは工場設立平成18年の翌年平成19年が基準年度となっており現在の70%程度の生産量で有り平成19年以降、弊社は生産量も増加を継続させており揮発性有機化合物の使用量も増量せざるを得ない状況に有り削減率では成果を出し辛い状況にあります。20年度に制定された条例の削減目標30%の設定を上回る50%の削減を実施いたしております。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	ハヤシレピック株式会社 第5事業部
------------	----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の日標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の日標を達成できた。
B	目標年度の日標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の日標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
○C	目標年度の日標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の日標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

本年度は、去年度と比較し、使用量が減少し排出量が増加しました。
今後、工程の改善や溶媒の見直しにより揮発性有機溶剤の削減に努めます。
また、新規設備（環境配慮型設備）の導入検討も必要と思われます。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 荏原製作所 富津事業所
------------	---------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	1 2	2 1	2 9	3 9	9 9				

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 塗料対策 (11、12)
低VOC塗料：選定、標準化、客先への提案、実機への適用
2. 溶剤対策：蓋閉めの徹底 (21)
3. 洗浄剤対策
洗浄方法の工夫・変更 (29)、高圧蒸気洗浄の使用頻度向上 (29)
洗浄工程の廃止 (29)：防錆方法の変更
4. その他の対策
廃棄物管理 (99)：残液の回収、残液のVOC含有量の算出
塗料庫の入出庫管理の徹底 (99)、エアラップガンの使用 (39)

(その四)

評価

工場又は事業場の名称

日鉄エポキシ製造株式会社
千葉工場

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

気候変動による夏季の温度上昇については、影響を抑制するため継続的に対策を検討する。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。